にっしん子育てナビ

ふぁまっぷ

5月号

発行元：日進市

ふぁまっぷキャラクター　伝ママ・でんぱう

こんにちは。初めまして！　現在子育て真っ最中のパパ、ママへ。
子育て、いかがですか？我が子はかわいくて仕方がないけれど、実際の子育てって楽しいことばかりではないですよね。特に初めてのお子さんの場合、戸惑ったり、悩んでしまうことも多々あると思います。また、これからパパ、ママになる皆さんは、予行練習もなく、お子さんが生まれたらその日から待ったなしでパパ、ママをこなしていかなければいけません。何をどうやっていいのか分からないという不安があるのではないでしょうか。

そこで、日進市では「子育て」を楽しいことは2倍に、大変なことは半分に思うことができたらいいなあと思い、子育て中のパパママの、パパママによる、パパママのための子育て情報紙「ふぁまっぷ」を作りました。毎回、「子育て」に関する様々な情報をてんこ盛りでご紹介していく予定です。この情報紙を１２０％フル活用して、子育てにたくさんの思い出を作っていってほしいと思います。

公園情報 第1回目 愛知牧場

日進市内の、親子でちょっとおでかけできる公園・広場・遊び場を順々に紹介していきます。

みんなで行くモゥ～

日進市の東にあるこの牧場は、広大な敷地の中に馬や牛、羊、ヤギ、ウサギ等が飼育されています。動物の様子を見るだけでなく、実際に動物たちに餌を与えたり、馬に乗ったり（引き馬、乗馬）、ウサギと触れ合ったりすることもできます。季節によっては、羊の毛刈りや子牛にミルクを飲ませる体験もできます。

当牧場では、定期的に様々なイベントが開催されていますが、ゴールデンウィークに開催されるイベントは下の通りです。この他にも、この季節には菜の花迷路が登場します。（※気候等によって、時期が多少ずれることがあります）黄色い菜の花に囲まれて、迷路に挑戦してみてはいかがですか。

遊ぶ、体験する以外にも楽しみなことが、食べることですよね！お弁当の持込はもちろん可ですが、レストランや軽食コーナーもありますので、うっかりお弁当を忘れてしまっても大丈夫！デザートには、今ではすっかり有名になったソフトクリームの他に、ジェラート、チーズケーキはいかがですか？これもどちらも絶品！いっぱい遊んで、食べて、見て、体験して・・・と一日中楽しめること間違いなし！きっとゴールデンウィークの楽しい思い出ができることでしょう。

（磯・浅井）

ゴールデンウィークイベント

内容	日にち	時間	料金	定員
乳搾り体験	4月29日・30日 5月3日～6日	13：30～ （受付 15：30まで	400円	なし
バター作り体験	4月30日 5月3日～5日	13：30～	500円	1日30名 （予約可）
ウサギふれあい体験	土日祝日のみ	10：00～12：00 14：00～18：00	200円	各回30名

住　所：日進市米野木町南山977
営　業：9時～17時（施設により、異なる）
休　日：（動物広場、モーハウス）なし（パターゴルフ、乗馬クラブ）火曜日
　　（ゲストハウス）水曜日　年末年始
料　金：無料（施設によっては、有料）
駐車場：500台（無料）
その他：授乳室あり（ゲストハウス内）オムツ交換台あり（ゲストハウス内、事務所等横の女性トイレ内）給湯施設⇒バーベキュハウスにて提供可、レンタルバギーなし（ベビーカーの持込OK）各施設前スロープあり（砂利道、傾斜地あり）
詳細は、HPを見てね→http://www.niboku.com/

子育てサークル紹介

にっしん子育て総合支援センターに登録されている子育てサークルを順次紹介いたします。

こんにちは！五色園子育てサークルの「ぐるんぱ」です。

未就園児を対象に月に２回集まって、みんなで歌ったり遊んだりして親も子どもも楽しんでいます。また遠足、水遊び、運動会、ランチバイキング、クリスマス会・・・など季節にちなんだイベントが盛りだくさん！！

入園前に私たちと一緒に、お子さんも、おかあさんも楽しみながらお友だちの輪を広げませんか？

入会は随時受け付けております。まずは見学からでもOKです。お気軽に下記までご一報ください。お待ちしております。　（ぐるんぱ）

開催日時　第２・４木　10：20～12：00
活動場所　五色園第一集会室・相野山福祉会館　等
問合せ　にっしん子育て総合支援センター　0561-75-2244

託児グループ「かばくん」

学びたい「おかあさん」「おとうさん」を応援し、子育てのサポートをするとともに、子どもたちの健やかな成長を願って活動しているグループです。託児をすることで、学習やリフレッシュの場のお手伝いができればと考えています。

活動地域　主に日進市内
活動内容・日進市主催講座の託児
　・生涯学習課主催講座「子育てネットワーク」への企画参加
　・各自主グループ・団体および個人からの依頼託児
　・自主学習会・講演会等への取り組み
会員数　現在 20 名
年会費　年 600 円
定例会　月に 1～2 回　（主に中央福祉センターにて　活動の準備や話し合い、子育てに関する情報交換等行っています。）

託児では、短い時間の中でも、子どもたちの成長・変化にはいつも驚くことばかりです。不安いっぱいで泣いていた子どもが、徐々になれてニコッと満面の笑みを見せてくれた時は、私たち託児者の最高の喜びでもあります。（かばくん）

◇現在会員募集中◇
子どもの好きな方。託児をしてみませんか？
お子様連れの方もOK！子育てをひと段落終わった方もOK！
子どもと接しながら、自分自身を見直し、成長しませんか？

問合せ　にっしん子育て総合支援センター　0561-75-2244

おすすめ絵本 これよんで

「きょうはみんなでクマがりだ」
マイケル・ローゼン再話
ヘレン・オクセンバリー
絵　山口文生訳　評論社　1977年

今日は波も穏やかで、いい天気。さぁみんなでクマがりへいこうと、パパと子どもたちはいさんで出かけます。草原をぬけ、川をわたり、沼地をこえ、森をくぐり、吹雪に立ち進んでいくと、ようやく、大きなほらあなを見つけました。ぬきあし、さしあし・・、そこでだれに出会ったでしょうか？ほらあなから帰るときの息づかいがきこえてくるようです。読み終えるとなぜか、そうだよねという気分になります。お話の楽しさを味わえる一冊です。　（高野）

パパコラム　僕が父親になるまで

連載 第1回 「子どもが出来た？！」

「ねぇねぇ、これ見て！」この言葉から始まった。夕食前、目の前に細長い棒状の物体が差し出される。先端の小窓には、青い印が出ている。

とにかく、ソレを目にして最初に思ったことは「出来た」という実感ではなく、「食事前にそんなもの出さなくても」だった。要の香さんは今でもそれは不満らしいが、既婚男性の最初の感想なんてそんなものだろう。「子どもが出来た」というリアリティがなかったのは、臨月を迎えてスイカのようになった香さんのお腹を見ても、「女の子が生まれた」というお義母さんの電話を受けても、病院で保育器に入れられてうごめく物体を見ても、そうだった。

とにかく、「子どもが生まれたら親になる」などという妄想は、間違いだった。「親になる」には努力が必要なのである。僕が父親になるまでには未だ大分時間が必要だった。

（パパさん）

日進市内子どもに関する 病院 紹介

●このコーナーでは、日進市内で子育て世代がよく利用する小児科のみの医院、産婦人科の病院・医院を、順にご紹介していきます。

少子化問題が叫ばれていながらも、地域によっては安心して出産できないという妊産婦受難の時代。しかし日進市では複数の産院から自分に合った所を選択できるという、大変恵まれた環境です。

レディースクリニック アンジュ（産科・婦人科）

住　所　岩崎台一丁目 1202
電　話　0561-74-1101
診察時間　平日　9：00～12：00、17：00～20：00
　　土　9：00～14：00
休診日　水、土午後、日、祝
駐車場　30 台
その他　電話・メールにて予約可、保育士託児あり、小児予防接種可、父親の立会可、上の子と一緒に入院可

香久山北交差点近くの便利な立地に瀟洒な佇まい。陣痛、分娩、回復を１室で行った後、ホテルのような個室にて入院。専属シェフによる健康食やエステルームといった豪華な設備とサービスも魅力ながら、院長の小島正義医師はこう話します。「当院の何よりの自慢は、熱心で経験豊かなスタッフによる充実した医療体制。個々の妊婦さんとご家族の希望に最大限沿った形で、思い出深く、自然に近い分娩を経験していただきたいというのが、我々の最大の願い。新しい家族の一員を迎える喜びと感動を家族皆で受けとめ、女性にとっては大変な苦痛を伴う出産とその前後の時間を、できるだけ心地よく安心して過ごしていただきたい。」妊娠から１・２歳児の子育てまでの一環管理と指導が特長で、定期検診や予防接種も受けられるよう、週３回、小児科医の回診があります。木曜午前には女性医師による診察時間も設けられています。米国にて無痛分娩を経験したため、自然分娩の痛みに恐怖を感じてしまう筆者でも、ここならいいかもと思えるような配慮の行き届いた産院です。　（大河内）

にっしん子育てナビ「ふぁまっぷ」
【発行】日進市生涯支援部児童課
日進市蟹甲町池下 268
TEL0561-73-1049　FAX0561-72-4664
【編集】NPO 法人ファミリーステーション Rin
日進市岩藤町蓮見 63
TEL・FAX　0561-56-1150　e-mail　rin@npo-rin.net
◆発行部数　月間 2000 部　毎月月初め発行
◆ふぁまっぷは、市内公共施設、ご協力いただける民間施設にて無料配布しています。

ふぁまっぷは子育てを応援するために日進市が発行しています。編集は、公募に応じてくださった市民編集委員の協力のもと NPO 法人ファミリーステーション Rin が行っています。皆さんの投稿、情報、ご意見をおまちしております。
100%再生紙を使用しています。